

看護だより

NURSE

平成 20 年 5 月 2 日

青空に家族そろって羽ばたく鯉のぼりを見ると、本当にすがすがしい気分になるのは私だけでしょうか？
 屋根より高い鯉のぼり～ 思わず口ずさんでしまうそんなさわやかな季節になりました。
 新入職員の皆さん五月病に負けずがんばりましょう！



野中看護部長特集



看護部長に就任して

野中時代

4月1日に就任し、常滑市民病院の職員を一人でも多く覚えようと毎日努力しています。その傍ら元気な挨拶とスタッフへの声掛けを常に行い自己を認識してもらうように心がけています。就職して間もない私を温かく迎えてくれた常滑市民病院の方々に深く感謝いたします。

今後は現場の風土や文化、師長会議や委員会活動、他部門との協働性、看護部の現任教育、医療安全対策など早急に把握し、分析したいと思っています。これには看護師長の多大な協力が必要です。どうぞよろしく願いいたします。病院経営面に関してはムダ、ムリ、ムラをなくすための業務改善（TQM 活動）に取り組み職員満足度と患者満足度が共に向上するよう取り組んでいきたいと思ひます。また病院経営に無くてはならない要素は院長、事務局長、看護部長の三者が良い人間関係を維持し、一つの目標に向うことだと考えています。これにより、すべての面が相乗効果となり良い成果を生み出すことができると思ひます。その仲介役が看護部長であり「和の要」的な役割であると思ひます。職員の半数以上を占める看護部は良いことも悪いことも病院の方向性を示す塊となってしまいます。この素敵な仲間と力を合わせて知的で行動的な看護部を創っていきたく心に誓いました。

今年度は新人の方が10名就職してきました。大切な看護師の「卵」をみんなで育て、大きく成長してもらえようとお互いがお互いを見極め、共に育つ環境づくりをしていきたいです。市場原理を忘れないでお客様を大切にすることを忘れない職場を目指したいです。そして看護部でやれる範囲の赤字対策を打ち出し、職員のモチベーションを維持しながら新病院建設に向けて少しでも貢献したいです。看護部長室はいつでも扉を開けています。お気軽に声をかけて下さい。笑顔で対応いたします。

